



TOEFL Junior[®]と 難関大入試問題との親和性に関して

京都教育大学附属高等学校 英語科 佐古 孝義

1.はじめに	P1
2.Language Form and Meaning (文法・語彙セクション)	P1
3.Reading Comprehension (読解セクション)	P4
4.Listening Comprehension (リスニングセクション)	P7
5.まとめ	P10

TOEFL Junior[®]は、生徒にとっては
「王道の英語学習で培った英語熟達度のセルフチェック」として、
教員にとっては「日々の指導のヒント・題材として」
また「その指導の成否の振り返りの手段」として、
大変有効な一助となるのではないのでしょうか。



Danke Sehr

1. はじめに

近年、大学入試の英語の改革が大きな問題になりました。センター試験を廃し、新たにつくられる大学入学共通テストから英語を外し、代わりに4技能を扱う民間試験を活用する…。そんな大々的な構想には次々と各方面から問題点が指摘され、実現直前になって結局頓挫することとなったのは記憶に新しいことでしょう。事の顛末や是非を論じることは他所に譲るとして、ここでは、「英語力向上の鍵は大学入試変革にある」と、半ば当然のように考えられていた点を指摘しておきたいと思います。そう、私たちの英語力が低い(とされる)原因は大学入試にある、入

試こそ諸悪の根源だ、そのように考えられていたというわけです。ですが…と敢えてここで問うてみます。果たして大学入試は、いわゆる受験英語は、そんなに「使えない」ものなのでしょうか。そこまで民間試験と「乖離」しているのでしょうか。

本小論では、米国ETSが作成するTOEFL Junior®で出題されている「英語圏の中学・高校生の学校生活で実際に使われている英語」(注1)と、東大、京大をはじめとする難関大入試で出題されている英語を比較し、その乖離あるいは親和性についてセクションごとに検討し、学習および指導の指針を提示してみたいと思います。

2. Language Form and Meaning (文法・語彙セクション)

TOEFL Juniorの文法・語彙セクションでは、一つのパラグラフの文章の中に穴埋め問題が含まれているという出題形式に特徴があります。かつてのセンター試験大問2などに代表されるような短文形式での文法・語法問題とは異なり、**ひとまとまりの意味(文脈)を意識しながら、その文脈にあった選択肢を選ばせる**という仕掛けが施されています。

この「文脈を意識させる」という点は、東京大学(前期)の大問4で見られる文法・語法問題にも共通する大事なポイントです。東大の出題は、

一貫して「文脈に照らして」解くことを要求していることは、生徒の皆様や先生方もご存じのことと思います。その証拠に、例えば、2021年度前期大問4の設問文には、「**文法上あるいは文脈上、取り除かなければならない語が一語ある**」(強調は筆者による)と明記されていたことを思い出してください。

また、双方で問われている文法事項についても高い親和性が見られます。一例を挙げます(強調は筆者による)。

例1) 東京大学(2021年度前期)大問4

…(22) **Not only could this** explain some long-standing mysteries —

例2) TOEFL Junior®での出題：(9)

easily run 7. (A) fast
(B) faster
(C) as fast
(D) fastest than a reindeer. In addition to moving quickly on land,

8. (A) excellent swimmers polar bears are.
(B) swimmers excellent polar bears are.
(C) polar bears are excellent swimmers.
(D) are polar bears excellent swimmers. Not only can they 9. (A) tolerate
(B) are tolerating
(C) tolerated
(D) have tolerated

the freezing temperatures of the Arctic Ocean, they can also stay in the water for hours at a time. It

このように、TOEFL Junior®では、準動詞や比較、関係詞といったいわゆる“メジャー”な文法項目だけではなく、次のような

例3) TOEFL Junior®での出題：(16) If not covered by another shirt, ... (注3)

15. (A) managed
(B) appeared
(C) received
(D) printed on them. 16. (A) If not covered
(B) If not to cover
(C) Not covering if
(D) If they do not cover by another shirt, they were

倒置や省略、挿入など、多くの高校生にとって学習が疎かになっている(でも入試ではしっかりと問われてしまう)盲点とも言える“マイナー”な文法項目までしっかりと網羅的に出題されており、生徒の文法知識の幅と深さを適切に測ることができる試験であるといえます。特に秀逸だと

感じるのは、下に示したように、「句と節の区別」をうまく間接的に問うている設問が随所にあり、TOEFL Junior®の受験を通じて、「**文法理解は読解力に直結しているのだ**」ということを生徒が肌で体感できる点です。

例4) TOEFL Junior®での出題：(8) (注4)

7. (A) master
(B) divide
(C) label
(D) miss

the glass containers. It is also a good idea to have a notepad handy to write

down

8. (A) you learn.
(B) what you learn.
(C) you are learning it.
(D) you are learning.

例5) TOEFL Junior®での出題：(17) (注5)

that the practice of wearing a T-shirt as an outer shirt entered into mainstream culture

17. (A) so
(B) as if
(C) it was
(D) because of

the popularity of movies of the 1950s starring the American actor

TOEFL Junior®に役立つヒントとして、公式問題集では、文脈と意味を利用して「正しい動詞の時制」「正しい主語および／または目的語」「意見は肯定的か、否定的か」などを判断する

ことが大切な点として挙げられています(注6)。これらは、そっくりそのまま先述の東大の文法・語法問題の解答のポイントと重なります。以下、いくつか拾ってみましょう。

例6)「正しい動詞の時制」：東京大学(2022年前期大問4(25))

⇒文脈とsince ...以下の節から下線部(a)のwas(過去形)をhave been(現在完了)に改める

例7)「正しい主語 および／または目的語」：東京大学(2020年前期大問4(21))

⇒文の主語がtheir appearanceであることを正しく見抜けないと、その主語を修飾する句となるように下線部(c)のlively charactersの前にasを補えない。

例8)「意見は肯定的か、否定的か」：東京大学(2021年前期大問4(21))

⇒文脈を踏まえると「どの種であれ、それを飼い慣らす以前に私たちは自分自身を飼
い慣らさねばならなかった」という肯定文となるはずで、下線部(e)のlittle(「ほとんど
～ない」の意味の準否定語)を取り除く必要がある。

こうして見てみると、昨今のコミュニケーション重視の流れのもとで、ややもすると文法指導が教室現場では隅に追いやられてしまいがちになる現状にあっても、東大をはじめとする難関大学の入試が変わらずに問い続けてきているのは、確かな文法理解に裏打ちされた正確な読解であるということがわかります。「なんとなく雰囲気だけわかったつもり」というフワッとしたユルい文法

力では到底太刀打ちできません。日頃から文法書・総合英語等の参考書を片手に地道に勉強する時間が必須であり、**基礎知識が身に付いたかどうかを「生きたauthenticな英語」で確認するための手立て**として、TOEFL Junior®の文法・語彙セクションは質・量ともうってつけであるといえるでしょう。

3. Reading Comprehension (読解セクション)

読解セクションでは、ノンアカデミックな文章とアカデミックな文章の両方が出題され、ノンアカデミックな文章では、ポスターや図表、雑誌記事、そしてEメールなど、さまざまな素材文が用いられ

ています。どれも高校生が体験しそうな内容であり、読んで役立つだけでなく、例えばEメールの文章は、実際に書く上での格好のお手本となりうるものです。

例9) 京都大学(2020年度前期)大問4

「大学生の吉田さんが海外の大学へ留学しようとしている。吉田さんになったつもりで、担当者に奨学金の問い合わせをする丁寧な文章を、解答欄に収まるように英語で作成しなさい。」

こうした問題に対しては、例えば以下のような問題が参考になるかもしれません。

例10) TOEFL Junior®での出題：(5)-(8) (注7)

Questions 5 - 8 are about the following e-mail.

To: Ms. Howell
From: Annemarie Dah
Re: This Year's Play
Sent: March 11, 5:12 P.M.

Dear Ms. Howell,

I hope you don't mind my sending this e-mail, but I wasn't able to stay after school to attend the drama club meeting today. I really apologize, but my ride home was not able to wait.

Line

5 Anyway, I hope that there are still some acting roles open in the play. If not, then I hope that there is at least a place for me to work on the production crew. I realize that the people who attended the meeting got first pick, but I thought it would still be good to e-mail you my preferences.

10 I enjoy acting in plays more than anything else. Even if it's a minor character, I would love to have one of the acting roles. If they have all been taken, then hopefully I can still work as one of the costume designers. As you know, I have done that before and really enjoy working with the parent volunteers to sew the costumes.

15 I can come to the theater tomorrow morning to talk with you if you are unable to answer this e-mail today. Either way, as I am sure you can tell, I am very excited about the play this year.

Sincerely,
Annemarie

この問題を通じて、I hope you don't mind my sending this email, but ... (突然メールしてしまい申し訳ありませんが)といったような、目上の人を書くEメールで使える丁寧表現を数多く学ぶことができ、また説得力のある文章展開のお手本を知ることがもできます。こうした点も、実生活や年齢相応の内容を取り上げているTOEFL Junior®ならではであり、ただ問題を解くだけでおしまいにするのは勿体無いと言えます。活用法は工夫次第でいくらでも考えられそうです。

一方、アカデミックな文章では、学校の授業で読んだり、ディスカッションしたりする話題を対象としています。英語におけるアカデミックな文章の典型と言えるようなパラグラフ構造を持った文章もよく出題され、これも大学入試の二次試験で近年増加傾向にある自由英作文(Essay

writing)対策に役立つモデル文として十分使えます。

さて、この読解セクションでは、以下の能力の測定が目的とされています(注8)。

1. 文章の要旨をつかむ
2. 要旨を支える重要な事実情報を特定する
3. 文章内ではっきりと述べられていないことに基づいて推測する
4. 使用頻度の少ない単語や表現の意味を文脈から判断する
5. 代名詞が指す語句を特定する
6. 書き手の目的または特定の修辭的な表現の目的をつかむ
7. あるプロセスにおける段階または指示を理解する

これらはまさに大学入試でも問われる能力であることは言うまでもありません。特に3、4、6な

ど高い論理的思考力を問う問題は難関大入試でよく見られ、しばしば難問と解されています。

例11) 東北大学 2021年度前期大問1 問4

… At times, too, entrepreneurs and others more ⁽²⁾**explicitly** sought to identify their products as “national” in order to build new markets.

(中略)

The rise of French cuisine as an international elite standard ---- in fact, as the other against which Italian and English foods were at least partly defined ---- is certainly the most successful ⁽⁴⁾**melding** of national imagine and cuisine in the minds of outsiders, …

問4 下線部(1)～(4)の意味として最も適切なものを、それぞれ与えられた選択肢から選び、記号で答えなさい。

(2) explicitly

(ア) completely [B1] (イ) generally [B1] (ウ) hastily [B2] (エ) specifically [B2]

(4) melding

(ア) breathtaking [B2] (イ) breaking [A1] (ウ) blending [B2] (エ) borrowing [A1]

(CEFR-J Wordlist ver1.6による(注9))

上のように、選択肢に登場する語句は、CEFR B1～B2程度のもが多く、難易度の観点から見てもTOEFL Junior®は難関大入試と親和性が高いと言えます。つまり、TOEFL Junior®受験がそのまま入試対策ともなりうるわけなのです。TOEFL Junior®では、英検等とは異なり、級による区分や、合否など区別がないため、学習の初期段階から熟達度測定を行え、英語運用能力の伸び率・弱点を測ることができるという点に特徴がありますので、学習のモチベーションを維持したまま、難関大入試に求められるCEFR B2

レベルまで自身の英語力を引き上げてゆくことが可能です。

TOEFL Junior®のリーディング問題は、特に後半の問題では、高い論理的思考スキルが要求されますので、日々の対策学習としては「**文章全体を読み終えたら、要旨をまとめて、論理的な思考能力を高める練習**」(注10)がよいとされています。これは言わずもがな、東大の大問1の要約問題の対策そのものです。

4. Listening Comprehension (リスニングセクション)

リスニングにおけるノンアカデミックな素材では、校内の指示や短い会話を取り上げられ、学校生活に関するさまざまな出来事が話題となって

います。実はこうした出題は、近年の難関大学の入試でもよく目にするようになってきました。例を挙げてみます(強調は筆者による)。

例12) 名古屋大学 2019年度前期大問3

The following conversation takes place in the library of a high school in England. An English student, Lily, is talking quietly with her Japanese classmate, Yuri. Read the text and answer the questions.

Yuri: Hey, Lily, stop playing with your new tablet! You asked me to help you with your math homework now, remember?

Lily: Oh, sorry, Yuri. I'll put it away.

Yuri: What were you looking at anyway?

Lily: It was a website about gap years.

(中略)

Lily: Me too. **That's what got me interested.** I'd really like a chance [か].

(後略)

次の例では、設問の選択肢に重要口語表現がふんだんに出てきます。

例13) 早稲田大学(商) 2019年度大問1

次の会話文を読み、下記の設問に答えよ。

Cindy and Pete are friends. They run into each other on the street.

Cindy: Hi, Pete! I haven't seen you around lately. How have you been?

Pete: Actually, I was in the hospital last month.

(中略)

設問1. 空所(1)~(5)を埋めるのもっとも適当なものを(a)(j)からそれぞれ一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークせよ。ただし、各選択肢は一度しか使えない。

(a) Did you hear the news?

(f) I wish I'd known.

(b) How does that sound?

(g) That's nice of you to say.

(c) I couldn't be better.

(h) That sounds like good advice.

(d) I don't want to trouble you.

(i) That's what I heard.

(e) I'm really happy for you.

(j) Who knows?

TOEFL Junior®のリスニング問題は、普段のおしゃべりに近いスタイルであるために、上記のような入試にも出題される**日常会話での重要口語表現を学ぶ素材としても大変有用**です。

一方、アカデミックに分類される問題では、学校の授業やディスカッションに取り上げられるような内容が出題されています。およそ3分に及ぶ長さの問題もあり、語彙レベルの点から言っても大

学入学共通テスト第6問よりも知的に高度で難易度も高めです。話題の幅も、自然科学、社会科学、あるいは時に道徳的な内容を含むものまであり、リスニングを通して新しい知識や発見を得ることもできます。

このアカデミック素材は、形式・内容とも二次試験でリスニングが出題される難関大学の入試問題と非常に近いものです。論より証拠、一例を挙げてみましょう。

例14) 一橋大学 2021年度前期大問3

音声を聞き、その指示に従って、AおよびBの各問いに答えなさい。

A. 以下は、講義の内容をまとめたメモです。空欄(1)~(6)に入れるのに最も適切な語を、講義の中から抜き出して解答欄に書きなさい。

Social Clock

- A timetable determined by culture or social (1)
e.g. marriage, graduation, employment, or social status
- An idea proposed by Bernice Neugarten to help explain aging
- All societies have a conscious or unconscious (2) that dictates when events should occur

(後略)

B. 講義の内容にもとづいて、下の1~6の文の空欄に入れるのに最も適切なものを、それぞれの選択肢イ~ニから一つ選び、その記号を解答用紙に書きなさい。

1 Behavioral economics _____.

イ combines ideas from economics, law and psychology

ロ is less robust and less accurate than psychology

ハ is the study of how humans make decisions

ニ shows that computers are more accurate and robust than humans

(後略)

最後に、そもそも「読解力とは何か」という点にもう一度立ち返っておきましょう。OECD（経済開発協力機構）が進めているPISA(Programme for International Student Assessment)では、数学的リテラシー、科学的リテラシーと並んで「読解力」が調査対象となっています（注11）。その読解力が意味しているのは、「自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参加するために、書かれたテキストを理解し、利用し、熟考する能力」（注12）です。その特徴として

1. テキストに書かれた情報を理解するだけでなく、「解釈」し、「熟考」することを含んでいる
2. テキストを単に読むだけでなく、テキストを利用したり、テキストに基づいて自分の意見を論じたりすることが求められている
3. テキストの内容だけでなく、構造・形式や表現法も、評価すべき対象となる
4. テキストには、文学的文章や説明的文章などの「連続型テキスト」だけでなく、図、グラフ、表などの「非連続型テキスト」を含んでいる

などが挙げられています。では、こうした観点は、入試問題ではどのように扱われているのでしょうか。以下の例をご覧ください。

例15) 京都大学 2019年度前期大問2

（問題文は省略）

(4) 下線部(d)のthree social usesのうち、あなた自身がcamera phoneを使うならばどれを重視するか。一つを選び、具体例を挙げて理由を**100語程度の英語**で述べなさい。

この問題などに如実に表れているのは、テキストをただ表面的になぞるのではなく、テキストの言わんとしていることを「深く解釈し、熟考し、テキストを利用したり、テキストに基づいて自分の意見を論じたりする」、つまりPISAの言う「読解力」を問う姿勢です。この読解力が難関大入試の“英語”で問われているということは、「読解力は、国語の内側でのみ完結するものではなく、英語でも（さらに教科横断的に）学び育まれるものだ」ということを含意しているといえるでしょう。

とすれば、英語教育の場面で（も）、上述のPISA型の読解力を鍛えてゆく必要性は今後ますます増してゆくはずです。

ともあれ、このような高次の読解力を身に付けるには、まずはテキストの内容とともに構造や形式を理解する力が必要です。これぞまさに language forms and meanings ですね。この基礎力の伸長を診る点でも、TOEFL Junior® は、骨太の読解力を測るに相応しいものと言えるでしょう。

5. まとめ

以上、セクション別にTOEFL Junior®と難関大入試の高い親和性について検討してきましたが、ある意味でこの**高い親和性は「当たり前」**であると言ってよいと思います。というのも、**東大、京大といった最難関大を含め、大学入試は、従来のアカデミックな内容に加えて、日常生活のコミュニケーションを意識したものへと変わってきている、つまり簡単に言えば「TOEFL Junior®側へじりじりと寄せてきている」**からです。とりわけ、TOEFL Junior®における**文法・語彙セクションは、「生産的スキル(すなわち、話すことと書くこと)**

【学習の指針】

高校生の皆さんにとって、「これは大学受験のための英語」「こっちは資格・検定試験のための英語」と学習を切り分けたりするのは、全くのナンセンスであると言えます。そのような不毛な二項対立を越えて、**「生きたauthenticな英語」を素材に学ぶことこそが、英語学習の王道になるはずでしょう。**日頃から英字新聞や海外のウェブサイトなどさまざまなジャンルのauthenticな英語に触れ、4技能をバランス良く伸ばすために、語彙を増やし、正しい文法知識を駆使して論理的に読んだり書いたりする練習を積む。学んだ英文を何度も音読し、表現を自分のものにしたら、実際にコミュニケーションの場面で使ってみる。

【指導への提案】

また、教室現場においても、大学入学共通テストおよび難関大学入試のための準備(いわゆる受験英語)を殊更に特別視するのではなく、普段の指導と地続きのものとして一貫して指導してゆけばよい、ということになるでしょう。その認識に立った上で、例えばTOEFL Junior®を効果的

が直接測定されないテストにおいて、文法や語彙の知識をコミュニケーションのために使用する能力を間接的に測定することを意図している」(注11)とされていますが、ここで求められている力こそは、難関大学入試の英文解釈に必要な構造把握を支える正確な文法力であると同時に、英作文で必須の正しい英語産出能力の基礎でもあります。**今後もこうした親和性が変わることはおそくないでしょう。そう考えると、学習あるいは指導のヒントになりそうな方向性が見えてくると思います。**

こうした地道な学習が、資格・検定試験のスコアアップとともに、そのまま大学入試対策の基礎を形成することに繋がります。また、これは母語である日本語でよいと思いますが、幅広いジャンルの文章を読み、知識と教養を養うことが、結局は総合的な英語力の伸びには必須です。簡単に言えば、「英語力の基本には、確かな国語力がある」ということですね。その時に、ただ漫然とテキストの内容を鵜呑みにするのではなく、自ら批判的に(時にツッコミを入れながら)読む姿勢を普段から意識しておくことも重要と言えるでしょう。

に活用する方法として、例えば以下のような試みはいかがでしょうか。

1) 文法・語彙セクションを参考に、普段の文法・語彙の理解を促進する手段として、まとまったパラグラフを素材として、全体の文脈と個々の

英文の構造理解の両方を必要とする問題を授業や考査で出題する。

2) 読解セクションは、さまざまなテキストジャンルへの理解を測定するテストになっていますが、普段の授業でも、広い視野を持った情報収集能力の育成につながるように、できる限り色々なジャンルのテキストに触れる機会を確保する。中でも論説文は、パラグラフ構造を学習する素材として非常に良質ですので、しっかりと生徒にその構造を分析させ、自分達のエッセイライティングのお手本とさせる。また、

以上、思いつくままに提案してみましたが、活用法は十人十色、無限の可能性があると言えます。良い活用法があればぜひご教示いただけますと幸いです。

まとめますと、TOEFL Junior®は、生徒にとっ

先にも述べました通り、Eメールなどは、そのまま使えるテンプレートとして重宝するでしょう。

3) リスニングは、高校生が普段体験するであろう場面設定がされているので、例えばダイアログ問題のスク립トをスキットの素材として(生徒達に自由にアレンジをさせたりして)ロールプレイをさせてみるというのも良いかもしれません。お手本となるリスニングの音声を真似て練習することで、感情を乗せて英語を話す訓練にもなり、重要な口語表現の定着率も上がることでしょう。

では「王道の英語学習で培った英語熟達度のセルフチェック」として、教員にとっては「日々の指導のヒント・題材として」また「その指導の成否の振り返りの手段」として、大変有効な一助となるのではないのでしょうか。

【注】

- (注 1) TOEFL Junior STANDARDテスト公式問題集、くもん出版、p.4(2016)
- (注 2) 公式問題集p.48 (9)
- (注 3) 公式問題集p.103 (16)
- (注 4) 公式問題集p.100 (8)
- (注 5) 公式問題集p.104 (17)
- (注 6) 公式問題集p.45
- (注 7) 公式問題集p.115 (5)-(8)
- (注 8) 公式問題集p.52
- (注 9) CEFR-J Wordlistについては、CEFR-Jのウェブサイト (<http://www.cefr-j.org/index.html>)からダウンロードできます。
- (注10) 公式問題集p.75
- (注11) PISAについては、例えば「国立政策研究所」のHP <https://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/index.html>などをご参照ください。
- (注12) 文部科学省(2005)「資料4-9 PISA調査(読解力)の結果分析と改善の方向(要旨)」
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku/siryu/1379647.htm
- (注13) So, Y., Wolf, M. K., Hauck, M. C., Mollaun, P., Rybinski, P., Tumposky, D., & Wang, L. (2015). TOEFL Junior® Design Framework. ETS Research Report Series, 2015(1), 1-45, <https://doi.org/10.1002/ets2.12058> p.6

【著者紹介】

佐古 孝義 京都教育大学附属高等学校 進路指導主任・英語科主任
sakotakayoshi@gmail.com

1980年岡山県生まれ。京都大学大学院 人間・環境学研究所修士課程修了。現在、同大学院人間・環境学研究所博士後期課程在籍(言語教育研究開発論分野)。専門は、異文化間能力、批判的思考力とアイデンティティ変容。

主な著書に『コーパス・クラウン総合英語』(編集委員会代表、三省堂)